



株主のみなさまへ

第94期 中間報告書

2018.4.1 ▶ 2018.9.30

 **トヨタ紡織株式会社**

証券コード：3116

目次

株主のみなさまへ	03
財務ハイライト	04
地域別事業概況	05
トピックス	06
決算概要	10
会社の概況	11

基本理念

1. 社会

よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す。

- 1) 企業倫理の徹底をはかり、
公正で透明な企業活動の推進。
- 2) クリーンで安全な商品を提供することを使命とし、
地球環境保護を重視した企業活動の推進。
- 3) 地球社会の一員としての役割を自覚し、
よい社会づくりに貢献。

2. お客様

革新的な技術開発、製品開発に努め、
お客様に喜ばれる、よい商品を提供する。

3. 株主

将来の発展に向けた革新的経営を進め、
株主の信頼に応える。

4. 社員

労使相互信頼を基本に、社員の個性を尊重し、
安全で働きやすい職場環境をつくる。

5. 取引先

開かれた取引関係を基本に、互いに研鑽に努め、
共に長期安定的な成長を目指す。

株主のみなさまへ



平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、今100年に一度の大変革期を迎えています。自動運転技術をはじめ、技術革新は急速に進展するとともに、異業種も巻き込んだグローバル競争がますます激化しています。

そのような中、当社グループは、ビジョン「明日の社会を見据え、世界中のお客様へ感動を織りなす移動空間の未来を創造する」を目指し、「2020年経営計画」のもと、持続可能な成長の実現に向け、グループ一体となって課題に取り組んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

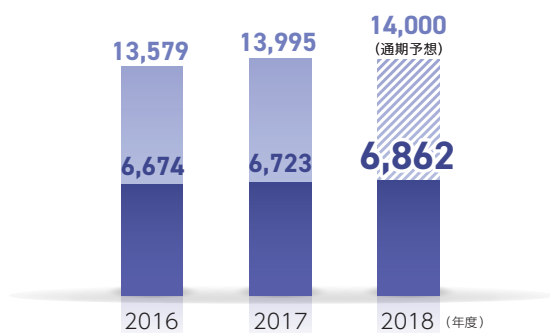
取締役 会長 豊田周平

取締役 副会長 石井克政

取締役 社長 沼 毅

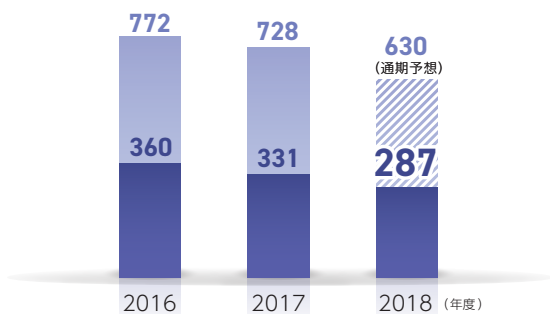
財務ハイライト

売上高 (単位：億円)



日本地域などで生産台数が減少するものの、車種構成の変化などにより、増収となりました。

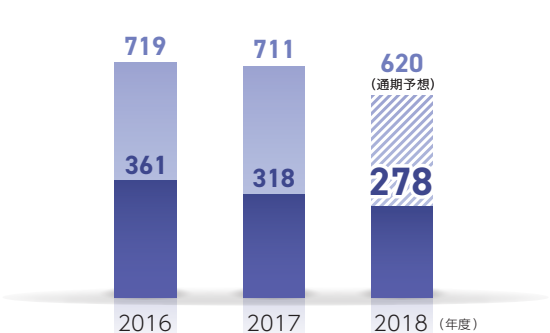
経常利益 (単位：億円)



営業利益の減少などにより、減益となりました。

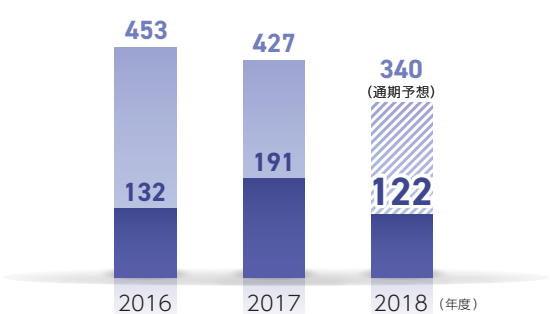
■ 第2四半期累計 ■ 通期 ▨ 通期予想

営業利益 (単位：億円)



車種構成の変化や合理化などによる増益要因はありましたが、製品価格変動の影響や諸経費の増加などにより、減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：億円)

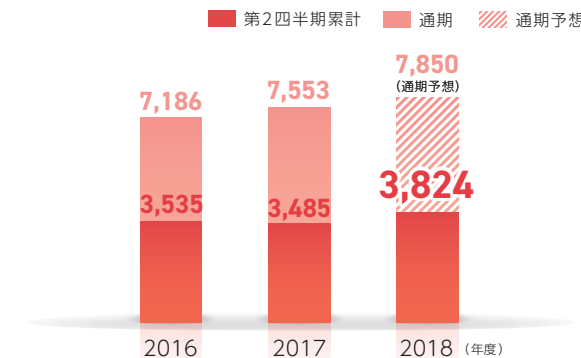


税負担の増加などにより、減益となりました。

地域別事業概況

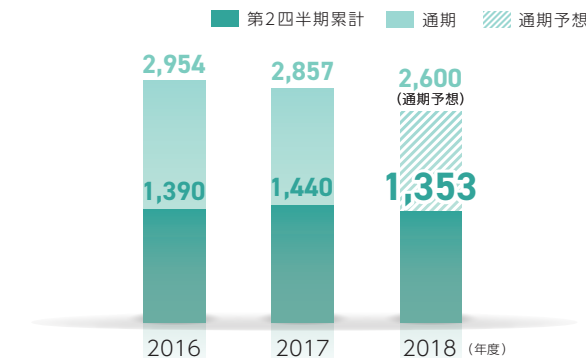
各地域の売上高推移

日本 (単位：億円)



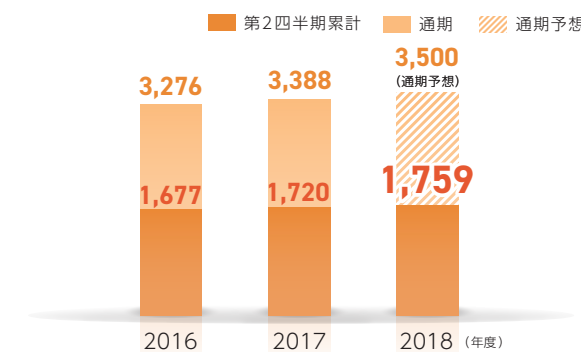
車種構成の変化などにより、前年同期に比べ338億円(9.7%)増加の3,824億円となりました。

北中南米 (単位：億円)



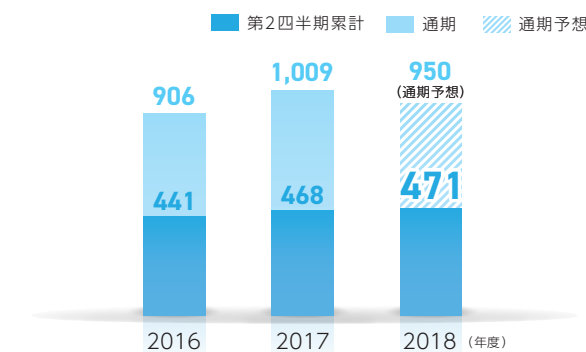
減産の影響に加え南米における通貨下落の影響などにより、前年同期に比べ87億円(△6.1%)減少の1,353億円となりました。

アジア・オセアニア (単位：億円)



オセアニアで生産終了の影響はありましたが、主に中国での増産の影響により、前年同期に比べ39億円(2.3%)増加の1,759億円となりました。

欧州・アフリカ (単位：億円)



為替の影響などにより、前年同期に比べ2億円(0.6%)増加の471億円となりました。

TOPICS

トピックス

01 技術開発

「冷却循環水浄化システム(Weets)」を開発、世界各地の工場へ

当社がこれまで培ってきたフィルトレーション技術を応用し、工場内の成形金型・冷却塔用「冷却循環水浄化システム」を開発。新たに開発した水コンディショナーの効果により、金型の冷却水配管に付着する水垢を防止・除去。金型内を均一に冷却でき、冷却不足による成形不良の低減のほか、配管内の洗浄も不要になるため、省エネ・節水に大きな効果が期待できます。

このシステムは、すでにトヨタ紡織グループ13拠点で導入しており、今後は、導入拠点を計画的に増やしていくほか、事業化も視野に入れて、活動を進めています。



成形金型・冷却塔用「冷却循環水浄化システム」



金型冷却水配管内の水垢除去

02 技術開発

リチウムイオン二次電池を開発

当社が誇る微細繊維技術によるセパレーターと、当社独自の精密プレス加工技術を用いたリチウムイオン二次電池を開発。ハイブリッド用電池並みのサイズと容量で、キャパシタ*1同等の出力密度と耐久性を実現。スポーツやプレミアム車両への搭載に向けて提案を進めています。

*1 電気二重層現象の原理が応用された蓄電池



リチウムイオン二次電池

03 技術開発

話題のクルマに新製品が搭載

6月にトヨタ自動車(株)から発売された新型クラウンに、高耐衝撃軽量発泡ドアトリムが初採用。これは、世界トップレベルの耐衝撃性能を有する樹脂素材「高耐衝撃プラスチック」を活用し、発泡成形技術を用いることで、高い衝撃性能を維持しながら、従来の基材と比較し約20%の軽量化を実現しています。

また、トヨタ自動車(株)から発表された新型センチュリー、カローラスポーツなどにも、当社のシートや内装品、エンジン関連部品が搭載されています。



新型クラウンに搭載された高耐衝撃軽量発泡ドアトリム

04 技術開発

「VODY」がグッドデザイン賞を受賞

東京モーターショー 2017に出展したインテリアコンセプトモデル[VODY*2]が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2018年度グッドデザイン賞*3を受賞しました。

(株)ライゾマティクスとワウ(株)が制作協力したもので、グッドデザイン賞のメディア・媒体部門を3社で共同受賞。最新テクノロジーを駆使して、人とクルマが同期して進化する未来の移動空間を表現した演出が評価されました。

*2 VOID (空間)とBODY (身体)を合わせた造語。人の体型や気分に応じてシート形状や空間が変化し、人とクルマが繋がることで、人に寄り添い進化する未来の移動空間の提案

*3 公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度



光や映像を使って、バーチャルに近未来を体感できると審査委員から評価された形状が変化するシート

05 技術開発

名古屋大学と「起潮力の影響」について共同研究開始

当社はこれまで、植物の成長と起潮力*4の関係に着目し、満潮と干潮のリズムに合わせて栽培室内の温度や光を調整する起潮力同調栽培技術を研究してきました。さらに幅広い分野で起潮力の影響を解明し、社会の役に立つ研究開発に発展させることを目的に、国立大学法人名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所と、起潮力の影響について共同研究を開始しました。研究分野融合の強みをいかして、幅広い視点で研究を深化させます。



新しい価値提案に向けて研究開発を加速します

*4 太陽と地球、月による天体間の引力と地球の遠心力から生じる力で、潮の満ち引きをひき起こす力

「グローバルウィーク 2018」開催

ビジョン実現に向け、グローバルで一つになるための場として、グローバルウィークを毎年開催しています。これは、世界各国、地域の事業体トップ、その国、地域を担う次世代リーダーなどが参加する社内会議で、今年は約300人が参加し、トヨタ紡織の新たな100年に向けて何をすべきか議論を深めました。

また、プログラムの中で、各地域の次世代リーダーが、縫製、ロボットティーチング、安全などのモノづくりを体験。ロボットティーチングでは、ロボットに迷路を解かせるプログラミングなどに取り組み、人の技能と知識が人工知能(AI)などのベースになることを学びました。当社は、グローバルに生産工程の標準化と各拠点の自立運営を進めており、基本能力を大切にす姿勢をグローバルに徹底し、現場力や組織力の向上につなげます。



高難易度の縫製技能を体験



ロボットに模擬図面作成をティーチング

人にやさしい工程・職場づくり

定年退職後も生きがい・働きがいをもち、培った経験とスキルを発揮し、伝承できる。また、女性や障がいを持つ社員でも働きやすく、いきいきと活躍できる「人にやさしい工程・環境づくり」を推進しています。

聴覚障がい者にやさしい表示板の設置

刈谷工場(日本)

聴覚障がいを持つ社員からの「設備が停止したときや、緊急時に何が起きているかわからず不安になる」という声をもとに、目で見て状況がわかる掲示版を設置。



妊婦さん専用工程

広州桜泰(中国)

2012年から座りミシンによる妊婦さん専用の縫製工程を導入。専用工程は、妊娠期間に応じて工程が分けられている。



トヨタ紡織ケンタッキー、 トヨタ紡織インドネシア 創立30周年

当社は、世界各地に拠点を展開し、最適なモノづくりを進めています。今年は、トヨタ紡織ケンタッキーとトヨタ紡織インドネシアが創立30周年を迎え、記念式典を開催しました。これから先の変化をしっかりと見据え、持続可能な成長ができるよう、それぞれの地域で、さらにチャレンジを続けていきます。



トヨタ紡織ケンタッキー



トヨタ紡織インドネシア



中国の内モンゴルで継続的に植樹を実施



「環境の森」加子母10周年を記念しヤマモミジを植樹

ATN Auto Acoustics(株) 稼働

当社と、Autoneum、日本特殊塗料(株)との合併会社「ATN Auto Acoustics(株)」が5月に稼働を開始しました。ATNでは、さまざまな評価装置やテストコースを活用し、車両の静粛性評価、解析などの先行開発を実施。自動車の電動化が進み、車室内の快適さが従来以上に重要となるため、NV*技術を向上させ、移動空間の快適性を追求する開発力強化を進めていきます。

* Noise(騒音)、Vibration(振動)の略称



マスコミ向けに取材会も実施

世界中に広がる トヨタ紡織グループの森づくり活動

トヨタ紡織グループが進める森づくり活動の輪は、世界中に広がっており、各地で植樹活動を推進しています。日本地域では、2008年からスタートした「トヨタ紡織グループ『環境の森』加子母」の森づくり活動が10周年を迎えました。また、中国地域では継続的に続けている植樹活動に対し、中国政府から表彰されました。

決算概要

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)			(単位：百万円)		
科目	前期末 (2018年3月31日)	当第2四半期末 (2018年9月30日)	科目	前期末 (2018年3月31日)	当第2四半期末 (2018年9月30日)
●資産の部			●負債の部		
流動資産	476,560	458,971	流動負債	303,409	287,968
固定資産	267,998	274,090	固定負債	132,528	131,475
有形固定資産	201,150	207,998	負債合計	435,938	419,444
無形固定資産	10,163	10,940	●純資産の部		
投資その他の資産	56,685	55,152	株主資本	283,882	290,775
資産合計	744,558	733,062	その他の包括利益累計額	△ 21,123	△ 18,918
			非支配株主持分	45,861	41,760
			純資産合計	308,620	313,617
			負債純資産合計	744,558	733,062

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)		
科目	前第2四半期累計期間 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
売上高	672,313	686,258
売上総利益	72,037	69,264
販売費及び一般管理費	40,147	41,448
営業利益	31,890	27,815
営業外収益	4,870	4,329
営業外費用	3,656	3,404
経常利益	33,103	28,740
税金等調整前四半期純利益	33,103	28,740
法人税等	9,871	14,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,098	2,458
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,133	12,278

会社の概況 (2018年9月30日現在)

株式の総数

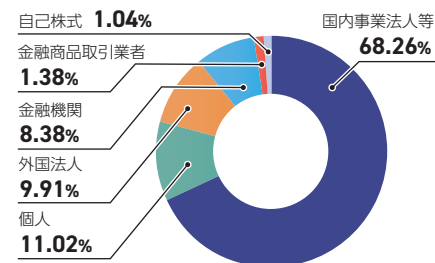
発行可能株式総数 500,000,000株
 発行済株式の総数 185,707,226株
 (自己株式 1,958,512株を除く)

会社データ

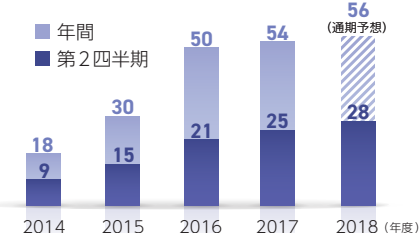
設立 1950年5月
 資本金 8,400百万円
 従業員数 単独8,359人 連結42,165人
 本社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

株主数 (13,958人)

所有者別株式分布状況



配当金の推移 (単位：円)



当社は、長期安定的な配当の継続を基本に、連結業績および配当性向などを総合的に勘案し、株主のみなさまのご期待にお応えしていくことを配当の基本方針としています。

中間配当金について

2018年9月30日最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

1. 中間配当金

1株につき28円

2. 効力発生日ならびに支払い開始日

2018年11月27日

役員 (取締役および監査役)

取締役 会長	豊田 周平
取締役 副会長	石井 克政
取締役 社長	沼 毅
取締役 副社長	鈴木 輝男
取締役 副社長	伊藤 嘉浩
取締役	笛田 泰弘
取締役	小笠原 剛 ^{※1}
取締役	小山 明宏 ^{※1}
取締役	佐々木 一衛 ^{※1}
取締役	加藤 宣明 ^{※1}
常勤監査役	山本 直
常勤監査役	水谷 輝克
監査役	佐々木 眞一 ^{※2}
監査役	藍田 正和 ^{※2}

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

おもな製品



[株式事務のお取扱いについて]

■ 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会

毎年6月

■ 配当金支払株主確定日

3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日

■ 株主名簿管理人および特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

■ ご注意

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取（買増）請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

[株主に関するお手続きについて]

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記の窓口にお問い合わせください。

■ 特別口座に記録された株式

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 単元未満株式の買取（買増）請求
- 住所・氏名等のご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定※
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期限経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合わせ

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は
お選びいただけません。

■ 証券会社等の口座に記録された株式

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期限経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合わせ

- 上記以外のお手続き、ご照会等

口座を開設されている証券会社等
にお問合わせください



■ お問合わせ先

[株主名簿管理人および特別口座管理機関]

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

■ 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



0120-232-711 (通話料無料)



<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

三菱UFJ信託 株 照会



■ 少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要がございます。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

■ 株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引のある証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

